令和３年度大学院入学試験問題
（前期募集）

教育実践高度化専攻
現代教育課題研究コース（道徳・生徒指導領域）

注　意　事　項

1　問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。

2　道徳及び生徒指導にかかわる関連領域の**３問の中から自由に２問を選択して**解答すること。

3　解答用紙は，１問につき１枚を使用し，**解答する問題番号（１～３）を解答用紙ごとに所定の欄へ記入すること。**解答スペースが足りない場合は，裏面を使用してもよい。

4　解答用紙には，受験番号を所定の欄に必ず記入すること。

5　試験終了後は，解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

道徳及び生徒指導にかかわる関連領域の３問の中から自由に２問を選択して解答すること。

問題１

1965 年刊行（1981 年改訂）の「生徒指導の手引き（文部省）」は，2010 年に「生徒指導提要（文部科学省）」へと抜本改定された。

①改定の背景に何があったのか，②「生徒指導の手引き」との比較において「生徒指導提要」の特徴は何かについて論じなさい。

問題２

日本の小中学校における「特別の教科　道徳」では，学習指導要領によって道徳的価値を教えることが定められている。しかし，諸外国の取り組みの中にはモラルジレンマを用いた討議型の授業や価値の明確化，子どものための哲学など，道徳的価値を教えない道徳教育の方法もある。こうした道徳的価値を教えない方法がなぜ道徳教育と言えるのか論じなさい。

問題３

小学校における学級活動で話合い活動（学級会）を行う場合には，発達段階に配慮した指導が求められている。高学年において学級会の指導を行うときに配慮したい点について論じなさい。